

氏名	鈴木玲子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	人間工学 看護技術教育 看護教育 緩和ケア				
学位	修士（リハビリテーション）				
学歴	1999年筑波大学大学院教育研究科（カウンセリング専攻）修了、2015年日本大学大学院理工学研究科（医療・福祉工学専攻）満期退学				
経歴	1992年東京女子医科大学看護短期大学助手、1998年東京女子医科大学看護学部助手、2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2009年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科（前期課程）准教授、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部および保健医療福祉学研究科教授、2013年埼玉県立大学地域産学連携センター副所長、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科（後期課程）教授、2016年埼玉県立大学学長補佐、2017年埼玉県立大学副学長(2021年3月まで)				
所属学会（役職）	日本看護研究学会（査読委員）、日本人間工学会（関東支部監査）、日本人間工学会関東支部、日本ヒューマン・ケア心理学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（監事）、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本看護技術学会、日本看護学会				

### 【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	「中堅看護師の教育力」の概念分析	共著	あり	日本看護科学学会誌 40, 629-635	宮部明美, 鈴木玲子, 常盤文枝, 山口乃生子, 大場良子, 東口晴菜	2021.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	「中堅看護師の教育力」概念分析	共同	日本看護学教育学会第30回 学術集会、オンライン開催	○宮部明美, 鈴木玲子, 常盤文枝, 山口乃 生子, 大場良子, 東口晴菜	2020.9	
2	がんサバイバーを対象としたキャンパス型 緩和ケアサロン継続参加の意味と運営の課 題	共同	第27回日本ホスピス・在宅 ケア研究会福井大会、オン ライン開催	○黒田真由美、星野純子、宮部明美、大場 良子、渋谷えり子、常盤文枝、鈴木玲子	2020.9	
3	キャンパス型緩和ケアサロンへの参加が家 族にもたらす効果	共同	第27回日本ホスピス・在宅 ケア研究会福井大会、オン ライン開催	○星野純子、黒田真由美、宮部明美、大場 良子、渋谷えり子、常盤文枝、鈴木玲子	2020.9	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成 基金助成金（基盤研究(C)）		中堅看護師の教育力深化を目指し たアクティブラーニング型研修の 開発と評価	研究代表者	2018.4～2022.3	
2	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成 基金助成金（基盤研究(C)）		小グループ学習法における総括的 評価に資するピア評価の確立	研究分担者	2019.4～2022.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学Ⅰ(概論)	○	8	国内外の成人保健の動向を踏まえた教授内容で構成し、理事長の特別講 演も組み入れるなど最新の情報提供に努めた。講義は遠隔授業であった が、アクティブ・ラーニングで実施した。		
2	スタートアップセミナー		15	新型コロナウイルス感染予防により遠隔授業で実施した。Zoomを用いたグループ 学習を指導した。		
3	看護学入門		1	看護学領域の紹介用スライドを作成し、授業に提供した。		

4	基礎看護技術・看護工学（大学院）	○	15	看護教授方法および看護技術教育の研究手法について講義した。
5	フィジカルアセスメント（大学院）	○	15	臨床推論習得に向け、診察方法と推論を導く事例を用いた演習を実施した。科目責任者として複数の科目担当者との調整も担当した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護研究	○	15	オムニバス授業を構成し、遠隔授業で実施した。文献検索やSPSSの操作方法は授業内容を一部変更して行った。
2	成人看護学Ⅲ（周術期看護）		5	生殖機能障害に対する看護を遠隔授業で講義した。また技術演習は対面授業で術前後の身体観察法について教授した。
3	成人看護学Ⅳ（クリティカルケア）		8	広範囲熱傷、胸部外傷、重度喘息に対する看護を遠隔授業で講義した。また技術演習もオンラインと自己学習を交えて実施した。
4	成人看護学Ⅴ（慢性期看護）		4	事例を用いた看護診断学習を遠隔による小グループ学習のファシリテータとして学生を指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ（急性・回復）		2020.5～2020.6	大学判断により臨床実習は中止により、オンライン実習で、事例を用いた看護診断学習をグループで学ぶことになったが、グループでの学習支援から評価まで実施した。
3	成人看護学実習Ⅲ（災害看護）		2020.8	災害拠点病院での見学実習を中止し、対面授業とオンライン実習を組み合わせることで学ぶ教育方法の計画に関わった。
4	総合実習		2020.7	大学判断により臨床実習は中止により、オンライン実習に変更したがその検討に関わった。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.3	主指導 0名	副指導 0名
2	修士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会、公開講座等の講師				
	講演会、研究会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県ナースセンター事業運営委員会	委員		2019.2～現在
2	埼玉県准看護師試験委員会	委員		2019.5～2021.3
3	一般社団法人 日本人間工学会関東支部	幹事		2020.6～2022.6
4	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	監事		2017.10～2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	副学長		2017.4～2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会 委員		2017.4～2021.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	男女共同参画推進委員会 委員長		2017.4～2021.3

4	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発センター センター長	2017.4～2021.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	新型コロナ対策会議 検討メンバー	2020.4～2021.3
6	大学広報活動	高等学校出張講義（2回）	2020.10～2020.11
7	大学広報活動	新宿セミナー川口校開校 記念講演会	2021.3
8	該当なし	学長・学部長退任記念講演 世話人	2021.1～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1			